

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1042
2025.6.1

日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ご意見・ご要望はこちらにお寄せください



発行

松村

としお

久保

金子

とば

みき

あきよ

とば

めぐみ

たけこし

連

池田

めぐみ

川西市・子どもの人権オンブズパーソン

子どもの権利条約の実践を視察

5月19日、1999年に日本で最初の子どものための独立した権利擁護機関を設置した兵庫県川西市「子どもの人権オンブズパーソン」を、党市議団から、とばめぐみ、たけこし連、池田めぐみの各市議が視察しました。

1990年代、学校でのいじめの広がり、心に痛めた川西市は、調査実施に踏み出しました。クラスで1～2人が死を考えるほどのいじめを経験していることが判明し、「子どもを助きたい」と、1998年12月、市の条例で「子どもの人権オンブズパーソン」を制定。「子どもの話を親身になって聴くこと」をもっとも大切にし「子どもの意見表明権の保障」を通じて「子どもの最善の利益を確保する」という、子どもの権利条約の実践活動がはじまります。弁護士や研究者等のオンブズパーソン3人、調査相談員4人、弁護士、研究者、心理士等の調査相談専門員11人という手厚い体制で、年間3400万円の予算を確保しています。

事務局からは「子どもが救済されるには、善意のおとなの存在だけでは無理。自分が問題解決の主人公であると実感できたとき、子どもの権利回復はより積極的にすすむ」「子どもの救済を法的権利、請求権、保障、公正、平等、



洛風中学校の廊下。座って本が読めるよう、椅子が置いてある

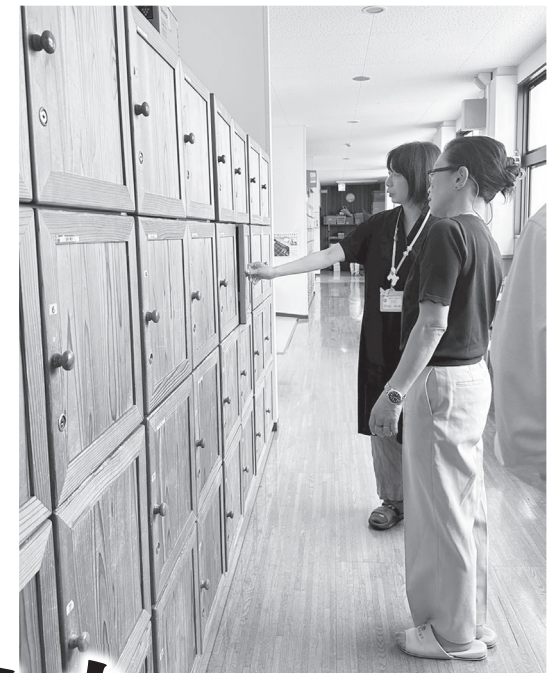
自由、という視点からとらえ、子どもの最善の利益は、子どもの気持ち・意見を聴くことで具体化される」「子どもの声をしっかり聴いてくれるおとなを増やすことが課題」等、経過や理念、実践等の説明がありました。毎年、市内の小学3年生は市役所見学の際にオンブズの事務局を訪れ、小学生の8割がオンブズの存在を知っており、中学生の職業体験でも役所を訪れる際にはオンブズの活動にも参加。「相談」が子どもたちの身近なものになっています。

ひとりの子どもの相談に相談員が耳を傾ける様子や、オンブズパーソンや専門家を交えた数人でのケース会議が動画を通して紹介され、とば市議は「とことん子どもに寄り添っている。オンブズによって個人的な問題を社会的な課題



(上) 子どもたちがつくったスローガンが廊下に貼ってある

(右) 木のぬくもりが感じられるロッカー



へと押しあげられ、子どもも社会も成長させている。さいたま市でもぜひ提案したい」と感想を述べました。

子どもを真ん中にした居場所づくり

京都市立洛風中学校を視察

続いて、京都市にある不登校児童生徒を対象とした特別学校「京都市立洛風中学校」(2004年開校)を視察しました。

洛風中学校の2025年度の生徒数は45名(1年生7名、2年生14名、3年生24名)、生徒は「ウィング」という名前の縦割りの生活グループに所属していて、異年齢の仲間と交流しながら成長します。全体の教員数は20名ほど。担任は、ひとつのウィングに3人という手厚さです。洛風中学校の教育では、徹底的に親身に関わってくれる大人との出会いを大切にしています。「困りに寄り添うが、困るまで待つ、困るまで手を出さない」のもポイントと、芦田美香校長は懇談のなかで話していました。

洛風学校は、中学校の旧校舎を改築し使っていますが、木の机や椅子、木の表札やロッカーなど、木のぬくもりや、風通しのよさを重視しています。年間総授業数も770時間で、一般的

な学校の7割程度。昼食休憩時間も1時間10分確保し、ゆっくり過ごすことができます。

一方で、さいたま市は「学びの多様化学校」を2026年4月に開校予定ですが、担任はならず、授業はひとりひとりがオンラインで受け、登校があるときも給食は実施せず、子どもたちは校庭も体育館もない施設に通う予定です。

池田市議は、「さいたま市の学びの多様化学校は、教育研究所内や教育相談室内に設けるため校舎はなく、通いたくなければメタバース(インターネット上の3次元の仮想空間)を活用してくださいというスタンス。不登校児童生徒を迎え入れるための居場所づくりは、京都市立洛風中学校のように子どもを真ん中にして考えるべき」と話しました。党市議団では、引き続き、市内の不登校児童生徒はもちろん、一般的な学校に通いながらもつらい思いをしている子どもたちも守る立場で、論戦していきます。



さいたま市平和委員会と市の懇談に同席する
金子・池田の両市議（左から 5、6 人目）

今年は戦後 80 周年、広島・長崎での被爆 80 周年という年になります。また、昨年日本被団協がノーベル平和賞を受賞、核兵器廃絶に向けた機運が大きくなっています。毎年この問題で市との懇談を続けてきたさいたま市平和委員会のみなさんが、4 月 25 日に市の担当部署である総務局総務課と懇談をおこない、池田め

ぐみ、金子あきよの両市議が参加しました。

今年度、平和推進事業の予算が 2.5 倍と増額されたことを参加者のみなさんも歓迎。とくに初のとりのくみとなる、広島平和式典への子どもたちの参加に期待の声があがりました。市内在住の中学生世代の方 10 人程度を募集し、総務課や教育委員会職員が同行します。各区から派遣できるようにして、地元で経験を広げてほ

しい、との要望が出されました。その他の平和推進事業として、例年おこなっている平和図画ポスターコンクールを「平和展」として規模を拡大すること、「こどもフォトコンテスト～平和を感じた瞬間」を実施することも予定されており、作品募集が始まっています。8 月には講演会、コンサートなどを企画。「ぜひ被団協から講師を招いて」と参加者から要望が出されました。

金子市議は「平和推進事業の拡大は市議団としても求め続けてきたこと。市民の要望を受け止め、戦後 80 年にふさわしいとりのくみとしてほしいし、今後もさらに発展させていくことが大切。さいたま市から平和と核廃絶の発信を続けていけるよう、私たちもとりのくんでいきたい」と話しました。

平和推進事業 募集が始まっています

詳細は市のホームページから
「平和推進事業」と検索してください

①広島への中学生平和学習派遣事業の参加者を募集

- 日程は 8 月 5 日から 7 日
- さいたま市内在住の中学生対象
- 参加費は無料（公費負担）
- 10 名程度募集
- 応募期限は 6 月 2 日（月）まで
- 当日は市の総務局総務課、教育委員会事務局職員等が引率します

②さいたま市子ども平和フォトコンテストの作品を募集

- テーマは“日常で「平和」を感じた瞬間”
- 応募できる人は市内在住又は在学の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等の児童・生徒
- 応募期限は 6 月 9 日（月）まで

桜区

バリアフリーの 優しいまちづくりにむけて

まちのあちこちにベンチがあるまちは、優しいまちです。久保みき市議のもとには、ベンチ設置の要望が届いています。



先日、田島の商店街にベンチの設置を求める声が届き、さっそく場所を提案して設置を求めました。また、桜区の桜の名所と言われている鴨川堤桜通り公園にはところどころベンチがありますが、古くなって、ボロボロになっていたため、改善を要求し、きれいになりました。久保市議は「バリアフリーの優しいまちづくりを、これからも市に提案したい。高齢者、障がい者、また、小さいお子さんを連れて外出した

際、座って休憩できるスペースは、これから迎える超高齢社会のまちづくりに必須」と話しています。

また、階段に手すりを設置することも重要です。昨年、桜区桜田の鴻沼川右岸、桜並木歩道から大宮バイパス歩道に行く階段に手すりの設置を求める要望が寄せられました。この歩道は高齢者の散歩コースにもなっていて、2019 年の台風 19 号の際は、唯一水没を免れたことから住民の貴重な道にもなりました。この歩道は、桜の根が張りだし凸凹の状態で、水はけも悪く歩きにくかったので、数年前に市に真砂土使用の舗装をしてもらった経緯があります。ここの階段には手すりの設置が必要です。

久保市議から、管理者である埼玉県に要望しても、なかなか手すり設置に理解を得られずに



いましたが、国をはじめさまざまな方に相談し、このたび手すりが設置されました。これからもバリアフリーの優しいまちづくりに向けて力を尽くします。

市議団の Youtubeチャンネルを リニューアルしました

議会の様子を動画にしました。
視聴&チャンネル登録をお願いします。



●義務教育学校「武蔵浦和学園」についてのアンケート



●校則に関するアンケート



●新設大和田小学校の学区に関するアンケート



あなたの身近な市議会議員です



緑 区
松村としお



桜 区
久保 みき



南 区
金子あきよ



見沼区
とばめぐみ



中央区
たけこし連



浦和区
池田めぐみ